

第3回 松蔭読書会 2015年3月20日 『妖怪アパートの幽雅な日常』

今回の課題図書は前回の読書会参加者へのアンケートを元にした投票の結果、最も票を集めた『妖怪アパートの幽雅な日常』（講談社文庫）香月日輪著 講談社 2008年に決定。本校図書館では貸出の多い作品のひとつなので、どんな話ができるか、楽しみに当日を迎えました。

まずは、作品にちなんだお菓子作りから。妖怪アパートでは手首だけの妖怪るり子さんによるおいしいお料理が数々登場するのですが、なかなかお菓子が出てきません。そこで、今回は和のスイーツということで“いちご大福”に決定。中学2年生の生徒も調理したがっていたのですが、学校行事と重なったため今回は断念。高校2年生の生徒に頑張ってもらいました。

調理のあとは各自お昼をとり13時にふたたび図書館に集合。今回の参加者は生徒4名保護者1名大学の先生1名国語のU先生1名司書3名そして春から一緒に働くSさんにも参加してもらい全部で11名でスタート。U先生は後の予定が詰まっている中、少しでも参加したいと来ていただきました。ありがとうございました！最初に読書会のルールの確認。人の話をしっかり聞き、相手を否定しないこと！違う意見の時は理由を言ってくださいね。

自己紹介と簡単な感想

- ・当たり前のハッピーエンドではない。
- ・主人公は大人びているので自分もそうなりたい。
- ・友人に誘われたので参加しました。
- ・かつて高校3年生の生徒が勧めてくれた作品。今では生徒に勧めたり姪に勧めたりしている。
- ・幽霊が出てくるが現実離れしていない。
- ・主人公が周囲に支えられて成長する姿が好き。
- ・友人から勧められた作品。龍さんの声が気になる。
- ・貸出の多い作品で気になっていた。軽いが深い部分もあると感じた。
- ・漫画のイメージと自分の想像が合わない。大人にはメッセージが前面に出てきすぎている。
- ・中学生の頃に読めば今と感想が違ったであろう作品。
- ・成長物語。クリちゃんのイラストがかわいい。るりこさんは家に来てくれないだろうかと思った。

好きなキャラクターは？

- ・るり子 「アダムスファミリー」のハンズのイメージ。
家にいて欲しい！
美人だったのでは？
- ・龍 かわいい！
ジュード・ロウさん、綾野剛さん、玉木宏さん。
- ・長谷 大人たちに人気あり。主人公を支えるいい子。
嵐の櫻井翔さん（「山田太郎物語」を演じていた頃で、もう少し背が高ければ...）が演じては？
- ・秋音 広瀬すずさんもしくは広瀬アリスさんのイメージ。食欲旺盛なところはCGでなんとかなるかな？
- ・茜 劇団四季の濱田茜さんに演じて欲しい。
- ・夕士 素朴なイメージ。

渋い深瀬や一色、かわいいクリとシロを推す生徒もいました。また、嫌なキャラクターがないので気持ちよく読めるという意見もありました。

実写化するなら誰にしてもらいたいが、今回は名前があまりあがらず...。10代の俳優さんが出てきませんでした。

名言

・「価値観ってのは、一つしかないとはそれはもはや価値観ですらないんだ。価値観は、いろんな価値観と比べてこそ価値観なんだよ自分の価値観も、別の価値観と比べてみて初めて価値観たるというか、よくわかるんだよな」(1巻p224より長谷から夕士への言葉)

イギリスに行って初めて日本人だと意識した。

友人は同じ価値観を持つものが多いが、違う人といると驚かされることがある。

・「悪い部分もすべては君たちの一部だ。切り捨てることはできないよ。だからそれはそれとして置いて、君の目は未来を見るんだ、夕士くん。なりたい自分をね。行きたい場所、やりたいこと。夢を見る人間には、無限の可能性があるんだよ。人間がおいらたちと違うのは、そこ。夢を描き、そこへ向かって突き進んでゆくこと。だから人間は素晴らしい。たとえ、そこに欲深さの罪はあっても、未来へ未来へと進化するのが人間だ。良いことと悪いことを繰り返しながら」(1巻p220より佐藤さんから夕士への言葉)

p212からp221までの佐藤さんと夕士の会話の中で“グラン・ブルー”(映画)が出てくるがどんな話かな?と興味を持った。

佐藤さんの家族設定が、上司がまた会いたいといわないように奥さんは美人ではないところが世渡り上手。ちなみに漫画では奥さんはぼっちゃりで子どもはかわいくない。

“グラン・ブルー”や“バートリー伯爵夫人”(若い女性の血の風呂に入り美貌を保っていた女性。漫画『ベルサイユのばら』に登場)など作者と自分の趣味の相性が合っていると感じた。

・「確かに、ちゃんとコミュニケーションできる奴って少ないよなあ~。あれだな、マークシートとマニュアルと情報量が多すぎることの弊害だな」(1巻p201より長谷から夕士への言葉)

語り合いによって成長している。

夕士は長谷くんの手紙の返事がかかないのでちょっとひどい!

・「苦しみも哀しみも、物事のたった一面にしか過ぎない。ましてや君はまだ若いんだ。現実はずらばかりじゃない。君さえその気になれば、可能性なんて無限にあるんだ。考え方ひとつで世界は変わるよ。君の常識があつという間に崩れたようにね」(1巻p98より龍さんから夕士への言葉)

・「君の人生は長く、世界は果てしなく広い。肩の力を抜いていこう」(1巻p99

より龍さんから夕士への言葉)

両親がいなくても、食卓を囲み会話をする相手がいるから夕士はいい方向へ成長している。

・どうにもならないことがあって、自分の力ではどうしようもないけれど、いつかうまくいくと信じて、自分の日常に受け入れる。(1巻p163より夕士の心の言葉)

全巻読んでいる生徒もいたので、他の巻の名言も出ました。あなたの心に響いた言葉はどれですか?



昔と今どちらがいい？

昔と今と、どちらが幸せなのか、豊かなのか。(p97より)

夕土が霊能力者である龍さんにアパートの妖怪について聞きました。すると、龍さんは昔はオバケはどこにでもいたが、今は人間に追いやられているからここは砂漠のオアシスだと表現します。かつては、人間と不思議は共存していたが、人間が一方向的に切り捨ててしまったのだと。夕土は、生まれた時からこの世の中が当たり前だったので昔と今どちらがいいのか考え出します。龍さんはこの答えは出ないと言いましたが、話し合ってみました。

- ・不思議を受け入れられないかもしれない。
- ・カラーテレビがある時代なら昔でも良い。
- ・昔のほうが純粋な気持ちがあったのではないか。
- ・今が普通なので、選択しにくいが不思議なものはみたい。
- ・夕土がアパートに来てすぐは、妖怪を受け入れられなかったのはなんでだろうか。
- ・昔は平和だったと言われるが、昔の犯罪史にも凶悪犯がいる。
- ・一人暮らしで大変だったのは自炊なので、このアパートのように悪さをする妖怪がいないアパートなら住みたい。
- ・今も妖怪はいるけど、見えない人が多くなっただけではないか。某テレビ番組ではアイルランド人はエルフを信じており、裁判官もエルフの味方をしていた。(妖怪を見た！という生徒あり)

その他

- ・小説のモデルになった場所などはあるのかな？ 鷹ノ台東は実在する？ 鷹ノ台なら千葉県にある。
- ・香月さんのほかの作品にキャラクターが出てくることがある。
- ・漫画とドラマCDもある。

読書会に参加して

- ・色々な意見が聞けて良かった。
- ・読書会がどういったものなのかがわかった。
- ・はじめは緊張したが、その後は気軽に話せた。
- ・周りに読書について話せる人がいないので、参加できて楽しかった。
- ・一冊の本について語り合えてよかった。
- ・いちご大福がとっても美味しかった！(司書0は人生初でした。)

小説に出てくる映画のパンフレットなどをみながらいちご大福を楽しみました。

読書会に参加してくれたみなさんありがとうございました！

次回は7月を予定しています。

課題図書は、『永遠の0』『僕とおじいちゃんと魔法の塔』『十二国記』『不思議の国のアリス』の中から、投票で決めます。